

## 第3期経営改革実施計画書

団体名	公益社団法人金沢職人大学校		計画期間	令和元年度 ～ 令和5年度	
設立年月日	平成8年8月19日	基本財産	10,000 千円	市出資額	10,000 千円
	[新公益法人への移行] 平成24年4月1日			市出資割合	100 %
設立意義・経緯	木造建築の伝統技法や歴史的建造物の修復技術及び知識は、近年の生活様式の変化や機械化、合理化の流れの中で失われつつある歴史的建造物等、都市景観の保全・活用に極めて重要であり、この分野の人材の育成を目的に設立された。				
設立目的	金沢に残る伝統的で高度な職人の技の伝承及び保存並びに人材の育成を行うとともに、資料の収集、調査及び公開を図ることにより、歴史的建造物の修復・復元を通じ、匠の技への高い社会的評価と職人の地位向上さらには伝統文化に対する一般の理解と関心を深めることを目的とする。				
定款で定める公益目的事業等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 伝統的で高度な職人の技の伝承及び保存のための講座を開設すること。</li> <li>(2) 伝統的で高度な職人の技に関する資料の収集、調査、研究及び展示公開すること。</li> <li>(3) 広く伝統的で高度な職人の技を集結し、文化財等の修復に寄与すること。</li> <li>(4) 伝統的で高度な職人の技に関する市民講座の開設等、市民の伝統的な職人文化への理解と関心を深めること。</li> <li>(5) 金沢職人大学校の施設の管理に関すること。</li> </ol>				
所在地	金沢市大和町1番1号		所管課	文化スポーツ局歴史都市推進課	
代表者職氏名	理事長 川上 光彦	ホームページアドレス	<a href="http://www.k-syokudai.jp/">http://www.k-syokudai.jp/</a>		
設立主体	金沢市	設立根拠	公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく公益社団法人		

これまでの改革の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成のための講座開設事業に関し、金沢市及び関係組合との連携により、研修生の確保と講座の質が保持されている。</li> <li>・市民公開講座等の各種事業の開催、市広報及び大学校ホームページによる情報発信により、当法人の事業に関する市民の理解と関心を深めるための啓発事業を推進してきた。</li> <li>・金沢職人大学が抱える課題について、金沢職人大学校運営委員会で検討を行い、課題解決に向けた「金沢職人大学校活性化プラン」を策定した。</li> </ul>
直面する課題	<p>近年、生活様式の変化等により、各業界において後継人材不足が生じており、その中で研修生の確保と講座の質を保持していかなければならない。</p> <p>また、市民を対象とした各種講座においては、募集定員を下回っている講座もあり、内容を検討するとともに広報活動を強化していく必要がある。</p> <p>さらに、平成27年度に策定した金沢職人大学校活性化プランの具現化を推進していく。</p>
改革の基本的方向性	<p>当法人の設立目的である、伝統的で高度な職人の技の保存、伝承並びに人材育成事業を継続して行うため、研修生の確保と講座の質を保持していくとともに、市民対象の各種講座にも重点を置き、公益性の対外的認知及び事業に対する理解と関心を深めることに努める。</p>

<p>経営目標</p>	<p>1 職員の専門性の向上 実務能力を高めるため、効果的な社団運営を実現するための各種講習会や相談会に積極的に参加することで職員の職務の専門性を高める。</p> <p>2 自主事業及び特別事業の充実 本科9科及び修復専攻科においては、研修生の確保及び講座の質を保持する。 また、市民公開講座をはじめ、市民が参加する各種事業を実施することで、事業の公益性や事業に対する理解と関心を深めていくための情報発信についても推進する。</p>		
<p>改革に向けた取組 (令和元年度～令和5年度)</p>	<p>1 職員の専門性の向上 社団職員の職務能力向上のため、社会保険及び税務に関する研修会、相談会、建築関係の学会に参加するなど、各担当分野における実務能力、専門性の向上を目指す。</p> <p>2 自主事業及び特別事業の充実 金沢市及び関係組合と連携をとり、研修生の確保と講座の質の確保に努める。 また、市民との関係性においては、従来の市民公開講座、子どもマイスタースクールに加え、授業参観日及び作品展示バザー、町家庭園探訪、ワークショップを実施するなど、市民の受益機会や当施設の利用・来訪機会を創出することで、当法人の事業の公益性をアピールすると同時に、事業に対する一般の理解と関心を深めていく。 さらに、各種講座参加者を増加させるため、内容の再検討や市広報・大専校ホームページを活用した情報発信に取り組む。</p> <p>3 金沢職人大学校活性化プランの推進 職人や研修生の減少、職人大学校のPR、修了生の活用など、金沢職人大学校が抱える課題について検討を行い策定した「金沢職人大学校活性化プラン」の推進に努める。</p>		
<p>成果指標 (実施計画の達成度を測るための指標)及び目標値等</p>	<p>成果指標</p>	<p>計画策定時数値 (平成30年度末)</p>	<p>計画目標値 (令和5年度末)</p>
	<p>専門性の向上のための研修等の増</p>	<p>7回/年</p>	<p>10回/年</p>
	<p>市民公開講座等参加者数の増</p>	<p>総数380名</p>	<p>総数450名</p>
	<p>広報活動回数</p>	<p>12回以上/年</p>	<p>12回以上/年</p>